香美市立美術館 アートの窓

TURUTARO　KATAOKA

片岡鶴太郎展 墨牡丹

6月1日（土）～7月28日（日）

「ある日、家の前に咲く椿に気がつきました。凛と咲く一輪の椿を見た感動を、絵に描けたら…」という思いから、絵筆を握った片岡鶴太郎。今年、画業18年を迎えます。

1954年（昭和29）東京西日暮里に生まれた片岡鶴太郎（本名＝荻野繁雄）は、幼少の頃より役者になることを夢見て、高校卒業後、片岡鶴八に弟子入りし、その後、幅広いキャラクターを演じる役者として活躍しています。

作家としては、'95年、東京にて初めての個展『とんぼのように』を開催、以後、'96年『心彩彩』、'97年『三番花』、'98年『門外漢』など、毎年新しい作品での個展を全国各地で開催してきました。'01年6月には、初の海外個展をフランスのパリで開催し、多くの来館者を魅了しました。

今回は、「目で見た色ではなく、その時に感じた色を、自分の中から引き出すのが目標」という片岡鶴太郎の作品の中から、『墨牡丹』のシリーズを中心に展示します。幾重にもかさなる淡い墨色の花弁が描かれた大作「墨牡丹」（二曲屏風）をはじめ、染めや焼き物などが展示室に並びます。

▲墨牡丹（部分）二曲屏風

また、昨年から南国土佐を旅し、絵のモチーフ探しをしてきた片岡鶴太郎。「高知に来たら、ぜひ、海の幸を描きたいと思っていた。この形があるから、自然界でここまで大きくなれた…。だから尊い」という彼の言葉のとおり、大海原でたくましく生きて来た土佐の鰹。白緑や鮮光朱、淡群青などで描かれた七色の鰹は、18年絵を描いてきた片岡鶴太郎が「今持っている全ての力を出し切った」という、とっておきの一枚です。「心で感じる色を、正直に告白していく」という、片岡鶴太郎の作品を、ぜひご覧ください。

（森元　律）

▲土佐鰹

片岡鶴太郎 サイン会

6/8（土）10時～

場所　美術館

当日、片岡鶴太郎画集購入の方へ、先着200名にサイン会の参加券を配布します。この日は8時30分より開館します。

吉井勇記念館だより

第10回吉井勇顕彰短歌大会

漂泊の歌人吉井勇の功績を顕彰するために開催している本短歌大会が、3月9日、猪野々集会所で開催され、全国各地から、一般89名・175首、学生611名・1022首の投稿がありました。

【受賞作品・一般の部】

吉井勇大賞

「力まずに鍬の重さを打つがよし」　母の声する春草うてば
高知市　上杉芳子

吉井勇賞

掃き寄する欅の落葉細杷の目を漏れし一葉が吹かれゆきたり
大分市　山崎美智子

佳作

横倉山に夕陽落ちゆき田を行けば刈り跡の藁灰かに温し
佐川町　うちだゆみ

「レジ袋おつけしますか」四歳が声弾ませて赤いレジ打つ
高松市　岡田正子

河波をましろき音符ののぼりゆくリズム合はせてゆりかもめ一列
高知市　森田睦子

玉井清弘賞

星々を斗賀野盆地に映しおり鏡の如くに冬の水張り田
佐川町　和田由香

【受賞作品・学生の部】

吉井勇大賞

それぞれが夢叶えようと起立する　高校四月初日が始まる
長崎県立諫早農業高等学校1年　橋本佳季

吉井勇賞

半袖シャツ白一色に衣替えした日は部活の腕が際立つ
長崎県立諫早農業高等学校3年　舛田和耶

佳作

雪が降り外に飛び出て手形付け誇らしげに子供が戻る
長崎県立諫早農業高等学校1年　大島健斗

揺れている期待と不安のヤジロベー学校に着くと不安に傾く
長崎県立諫早農業高等学校1年　丸田亜衣菜

すすき野の夕日に染まる空の上とびいく蜻蛉のはねがかがやく
山田小学校6年　小川詩歩

玉井清弘賞

群青の空に入道雲の白私は私混じり合わない
長崎県立諫早農業高等学校1年　山口美咲

図書館だより　市立図書館

こどもの読書週間・2013　4/23～5/12

第55回子どもの読書週間

【期間】 4月23日（火）～5月12日（日）

【標語】たくさん読んで大きくなあれ

「小さな子どもに絵本を見せている光景を見ると、微笑ましくなります。たくさん読んで、本と共に成長し、心から好きな本に出会えますように。そして大きくなったとき、思い出になるものであってほしいです」（入選標語の作者のことば）

世界の絵本展

読書週間に合わせて本館では、高知工科大学付属情報図書館から借り受けた図書、世界の絵本を展示します。アメリカ・イギリス・スペイン・ドイツ・インドネシア・ベトナム・中国・韓国・台湾などの本180冊を展示しています。『はらぺこあおむし』は、フランス・韓国・中国・アメリカ・台湾などで翻訳されています。各国の本に触れてみる良い機会ですのでぜひ子どもさんとご一緒にご来館ください。

また、香北分館では、《今、そして、これから》をテーマにベストリーダやボランティアお薦めの本を、物部分館では《またひとつ成長したね》をテーマに学校生活や友だちの本を展示しています。

山田おはなしの会

「山田おはなしの会」では、お気に入りの絵本の紹介や読み聞かせの練習や、子どもの本についての情報交換をしています。絵本が好きな方、地域や学校で読み聞かせをしている方、これからしてみたい方など、どなたもお気軽においでください。一緒に絵本を楽しみましょう。

【開催日】 奇数月第3水曜　25年度第1回は、5月15日（水）9時30分～11時30分

【場所】 本館2階

【問い合わせ先】 図書館 ☎53・0301

Pick Up

正義のセ（1～3）
阿川佐和子　著
25歳独身、豆腐屋の娘凜々子。子どもの頃から正義感が強く、晴れて念願の検事となり意欲に燃えるものの、苦戦の連続…。

おいしいご当地スーパーマーケット
森井ユカ　著
雑貨マニアが日本一周して厳選した1,015点！ルックスにひかれて、思わずカゴに入れちゃった地元の味。高知の食品は？

3.11行方不明
石村博子　著
今、どこにいるの？まだ、帰らない。東日本大震災から2年。行方不明者と共に生きようとする家族たちの想いを描いたヒューマンドキュメント。

吉井勇記念館企画展　吉井勇、九州への旅衣

吉井勇にとって九州は、若い頃に『五足の靴』の旅で訪れるなど、彼の文学に多大な影響を与えた土地でした。特に、南蛮文化や異国情緒に影響を受けた長崎や、偉大な祖父吉井友實の故郷である薩摩への思いは格別なものがありました。

吉井勇記念館では、企画展「**吉井勇、九州への旅衣**」と題して、勇にとっての九州にスポットを当てた展示を開催いたします。

【期間】 5月29日（水）～7月29日（月）

【問い合わせ先】 市立吉井勇記念館 ☎58・2220